



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区
いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 蛭田 剛
幹事 高橋 伸安
SAA 川口登志雄
広報小委員長 笠間 潤平

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

2024 - 25 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーのマジック

第 3009 回 例会 令和 7 年 3 月 26 日 (水・晴)

会員卓話 星 行夫 会員

ロータリーソング 奉仕の理想

— 今月は水と衛生月間です —



4 つのテスト
大平伸人 会員

◎会長挨拶—木村博昌会長エレクト



皆さん、こんにちは。本日は蛭田剛会長と鈴木敏広副会長が欠席の為少し早いですが次年の予定演習ということで挨拶させていただきます。私事で申し訳ありませんが花粉症は持っていましたが、最近の警戒レベルの花粉で鼻声は当然ですが、頭も痛い体もだるい咳も出るということで PETS に出席したのでコロナがうつったかと思い内科を受診したら花粉症ですと言われました。花粉症で内科を受診される方はかなり多いそうです。今年は熱が出たり私の様な症状の方が多く注意が必要だと思います。先日の 22、23 日に郡山熱海の華の湯で渡邊公平パストガバナーと嵐次期分区ガバナー補佐と私会長エレクトで次期会長研修セミナーを受けて参りました。2 日間第 2530 地区の次期会長が研修を受けてきました。中でも会長挨拶の 3 分間で皆を感動させることが大事だと鈴木先生はおっしゃっていました。なお、本日は会員卓話ということで星会員宜しくお願いします。会長挨拶は以上です。

◎幹事報告—高橋伸安幹事

・いわき平中央ロータリークラブより週報が届いています。いわき小名浜ロータリークラブからも週

報と 4 月のプログラムが届いています。

・米山記念奨学会より「ハイライト米山」が届いています。回覧致しますのでご覧ください。
・大船渡森林火災支援金のご協力ありがとうございました。全会員よりお預かりしましたので分区を通して被災地へ送りたいと思います。4 月 2 日の例会も夜間例会を予定しています。当日ガバナー補佐が来訪予定です。大勢のご参加を宜しくお願いします。4 月 5 日 (土) 東京江戸川ロータリークラブさんとのゴルフコンペがあります。伊勢屋さんの駐車場に朝 6 時集合ですので宜しくお願いします。4 月 6 日は北茨城ロータリークラブの創立 50 周年記念式典へ当クラブから 8 名参加予定になっています。登録は 10 時からです。遅れないようにお願いします。4 月 13 日は観桜家族例会で関の湯に 14 時 20 分集合となっています。5 月 11 日いわき分区ゴルフコンペが予定されています。当クラブからは 10 名参加で動いています。

◎各委員会報告

◇出席・スマイル委員会—星 行夫小委員長

・本日の出席状況は下記の通りです。
・会員卓話、「少子化と幼児教育について」星会員宜しくお願いします。木村会長エレクト、高橋幹事、吉野 (嘉) 副幹事、木幡、高萩、鈴木 (雅)、長谷川、

星、嵐、鈴木、吉田、川口、大平、佐藤 (泰)、柏原、佐藤 (政)、渡邊公平パストガバナー、斉藤、小澤、鈴木 (修) 各会員

・前回休んでごめんなさい。 木幡会員

◎会員卓話—星 行夫会員



皆さん、こんにちは。今日は「少子化と幼児教育」についてお話をしたいと思います。お配りした資料をご覧ください。

1. 少子化の現状

少子化と言われているが、いわき市の出生率は分かりますか？

(単位：人)

	H10	H 20	H30	R2	R3	R4	R5
全国	1,203,147	1,091,156	918,400	840,835	811,622	770,759	727,277
福島県	20,743	16,908	12,575	11,250	10,671	9,738	9,023
いわき市	3,615	2,913	2,253	2,047	1,868	1,798	1,695

●令和に入ってからからの減少が多い。

H20-30減少172,756人、H30-R5減少191,123人

原因：コロナ、若者の価値観変化、子育て環境の悪さ、経済的負担等

●令和 6 年度 全国の出生率 約 72 万人 (外国人を除くと約 69 万人)、福島県は 9,000 人割れ

(1) 国の少子化対策

①エンゼルプラン

背景：1989 年出生率 1.57 人

(いわゆる 1.57 ショック)

→国が少子化対策に乗り出す

政策：エンゼルプラン開始 (1994 年)

「子育て支援のための総合計画」

内容：低年齢児を受け入れるための保育所の増設、時間延長・休日保育

結果：1995 年 (平成 6 年) 118 万人

→ 1999 年 (平成 11 年) 117 万人

一定の成果あり？

②新エンゼルプラン

背景：エンゼルプランの見直し版

政策：新エンゼルプラン開始 (2000 年)

「子育て支援のための総合計画」

内容：0 ~ 2 歳の低年齢児保育、保育時間延長・

休日・病児など多様な保育ニーズへの対応や専業主婦家庭も視野に入れた一時保育サービスの整備

結果：2000 年 (平成 12 年) 119 万人

→ 2005 年 (平成 17 年) 106 万人

成果？

③新エンゼルプラン

背景：新エンゼルプランの見直し版

政策：新エンゼルプラン開始 (2005 年)

「子ども子育て応援プラン」

内容：子育て世代の働き方と若者自立策を重視。

施策として、100%の企業での育児休業制度の定着、30 代男性の労働時間の短縮と

育児休業取得率引き上げ (10%まで)、女性

の育児休業取得率引き上げ (80%まで)

結果：2006 年 (平成 18 年) 109 万人

→ 2010 年 (平成 22 年) 107 万人

成果？ 国の施策は親の就労支援ばかり

で、子どもを産み育てる環境の醸成が足

りない

(2) その他施策

・待機児童ゼロ作戦 (2001 年)

・待機児童解消加速化プラン (2014 年)

「保育所落ちた。日本死ぬ！」

・子ども・子育て支援新制度 (2013 年)

→こども家庭庁の創設へ (令和 5 年 4 月~)

現在の幼児施設の課題

①園児の減少 (収入の減少、経営危機)

令和 2 年から令和 6 年の推移

例：A 園 (200 人→131 人)

B 園 (198 人→126 人)

C 園 (123 人→54 人)

②職員の採用が困難

(学生数の減少と一般職への就職)

③長時間保育による職員の疲弊→離職へ

④気になる子の増加→学級崩壊、保護者対応、人

件費の上昇

出席状況	正会員数	39 名	カード出席率	3 名
	本日出席会員数	25 名	本日の修正出席率	73.68 %